



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社クルーバー 上場取引所 東
 コード番号 7134 URL https://www.crooober.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 大口 智文 TEL 045-988-5777
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,528	—	136	—	144	—	92	—
2022年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 91百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	35.12	35.06
2022年3月期第1四半期	—	—

(注) 2022年3月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の数値及び2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,718	3,067	65.0
2022年3月期	5,338	3,100	58.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,067百万円 2022年3月期 3,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	47.50	47.50
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,175	7.8	280	10.9	283	10.3	173	4.8	66.17
通期	11,306	7.4	800	16.2	813	16.3	482	17.0	183.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	2,624,500株	2022年3月期	2,624,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	ー株	2022年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	2,624,500株	2022年3月期1Q	ー株

(注) 1. 2022年3月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期における期中平均株式数を記載しておりません。

2. 2021年6月29日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限が緩和され、経済活動の正常化の動きが見られたものの、国際情勢の悪化や急速な円安の進行による原材料費やエネルギー価格の高騰等による個人消費への影響が懸念され、先行きが不透明な状況となりました。

国内の自動車関連市場に関しては、新車登録台数が昨年から続く世界的な半導体不足等の影響によって、前年比を10%以上下回る状況が続きました。同様に中古車登録台数も減少傾向にありましたが、中古車販売価格は新車販売の納期遅れ等の影響による需要の高まりから高騰傾向が継続しました。

こうした市場環境の中、子会社㈱アップガレージにおいては、前期に引き続き移動手段として公共交通機関から自家用車へのシフト、新車販売減少による保有年数の長期化を背景として、パーツやタイヤ・ホイールの買替需要が高まり、店舗及びEC売上が伸伸びいたしました。

直営店舗においては、DXによる買取業務の効率化や取付サービスの強化等によって利益率の改善を進めました。加えて、新たにアップガレージラボラトリーという自社内でのホイール加工・修理を行う取り組みを開始いたしました。これにより従来はリユース商品として扱うことができずに処分していたキズや劣化したホイールをリユース商品として再利用できるため、SDGsの観点からも有用な取り組みとなります。

また、2022年3月スタートの中古自転車の買取・販売を行う新業態「アップガレージ サイクルズ」については、中古自転車関連の買取依頼やお問い合わせが着実に増加しました。さらに女性やお子様連れのお客様に多くご利用頂いており、新たな顧客層の開拓も順調に進みました。

これらの施策により、直営店舗における既存店売上高の対前年同期比は101.3%となりました。

フランチャイズ関連についても、新規出店及びフランチャイズ店舗の増収によるロイヤリティ、EC手数料、その他付帯収入が順調に増加いたしました。

この結果、リユース業態(直営店舗運営、フランチャイズシステムの運営、ECサイト運営)による収入は1,577百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末時点の直営店及びフランチャイズ店の業態別の合計店舗数は、214店舗となり、その内訳は、「アップガレージ」130店舗、「アップガレージ ライダース」62店舗、「アップガレージ ホイールズ」11店舗、「アップガレージ ツールズ」2店舗、「パーツまるごとクルマ&バイク買取団」8店舗、「アップガレージ サイクルズ」1店舗となっております。なお、直営店及びフランチャイズ店の拠点数の合計は163拠点となっております。

当第1四半期連結会計期間末時点の各業態別の店舗数は次のとおりであります。

(単位:店)

	アップガレージ	アップガレージ ライダース	アップガレージ ホイールズ	専門店ブランド	合計
直営店	22	12	3	6	43
F C店	108	50	8	5	171
合計	130	62	11	11	214

(注) 1. 「アップガレージ ツールズ」2店舗、「パーツまるごとクルマ&バイク買取団」8店舗、「アップガレージ サイクルズ」1店舗をまとめて専門店ブランドに表記変更いたしました。

2. 「アップガレージ ツールズ」及び「パーツまるごとクルマ&バイク買取団」はフランチャイズ展開における業態別ブランドの集約・再編を行ったため店舗数が減少しておりますが、店舗拠点数の変動はございません。

子会社㈱ネクサスジャパンにおいては、タイヤメーカーの値上げや半導体不足の影響によるカーナビ等の受注減といった懸念がございましたが、「ネクスリンク」(受発注プラットフォーム)においては中古車市場の好調に伴う既存取引先の受注増加等により好調に推移いたしました。また、「タイヤ流通センター」も、加盟店の増加により堅調に推移いたしました。

この結果、流通卸売業態による収入は946百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末時点の「タイヤ流通センター」ブランドの直営店及びフランチャイズ店の加盟店合計は171店舗となっております。

自動車関連業界に専門特化した人材紹介業態「BoonBoonJob(ブーンブーンジョブ)」も、企業の採用活動活性化に伴い契約企業及び登録者数が共に増加いたしました。

この結果、その他の収入は5百万円となりました。

販売費及び一般管理費としては、ECを中心とした新規顧客の獲得に伴う広告宣伝費等の増加、店舗スタッフの増加による人件費の増加があったものの、全体としては運送費削減の取り組み等により全社的にコスト削減に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高2,528百万円、営業利益136百万円、経常利益144百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益92百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計期間末	当第1四半期 連結会計期間末	増減	増減率(%)
総資産	5,338	4,718	△619	△11.6
負債	2,237	1,651	△585	△26.2
純資産	3,100	3,067	△33	△1.1

(資産)

流動資産は2,887百万円となり、前連結会計年度末に比べ648百万円減少いたしました。これは主に、商品が37百万円増加した一方で、法人税等の税金納付及び配当金支払等によって現金及び預金が585百万円、売掛金が89百万円減少したことによるものであります。

固定資産は1,831百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産が26百万円減少した一方で、ソフトウェア開発に伴い無形固定資産が36百万円、新規出店等による設備投資に伴い有形固定資産が24百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は4,718百万円となり、前連結会計年度末に比べ619百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は1,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ567百万円減少いたしました。これは主に、借入金の返済によって短期借入金が300百万円、法人税等の税金納付によって未払法人税等が141百万円、買掛金が106百万円減少したことによるものであります。

固定負債は384百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が15百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,651百万円となり、前連結会計年度末に比べ585百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産合計は3,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。これは主に、剰余金の配当124百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益92百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移しており、2022年5月9日に公表いたしました「2022年3月期決算短信」における「2023年3月期の連結業績予想」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,074,588	1,489,423
売掛金	775,488	686,373
商品	555,258	593,169
その他	130,555	118,145
流動資産合計	3,535,891	2,887,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	988,710	1,007,772
減価償却累計額	△424,281	△434,812
建物及び構築物(純額)	564,428	572,959
機械装置及び運搬具	269,446	269,241
減価償却累計額	△185,064	△189,571
機械装置及び運搬具(純額)	84,381	79,670
工具、器具及び備品	329,074	352,682
減価償却累計額	△276,854	△283,391
工具、器具及び備品(純額)	52,220	69,291
土地	167,908	167,908
リース資産	62,678	68,213
減価償却累計額	△24,129	△25,935
リース資産(純額)	38,549	42,278
有形固定資産合計	907,489	932,108
無形固定資産		
ソフトウェア	208,424	220,280
その他	93,338	118,231
無形固定資産合計	301,763	338,511
投資その他の資産		
投資有価証券	18,936	18,561
長期貸付金	167,800	165,990
繰延税金資産	62,450	35,672
敷金及び保証金	321,382	319,102
その他	22,461	21,736
投資その他の資産合計	593,030	561,063
固定資産合計	1,802,282	1,831,683
資産合計	5,338,173	4,718,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	505,699	398,753
短期借入金	700,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	59,988	60,028
リース債務	14,020	12,920
未払金	149,308	166,144
未払法人税等	169,554	27,613
賞与引当金	24,135	13,706
ポイント引当金	15,990	16,609
その他	196,434	171,734
流動負債合計	1,835,131	1,267,511
固定負債		
長期借入金	35,055	20,018
リース債務	35,331	38,668
長期預り保証金	180,290	173,370
資産除去債務	151,807	152,104
その他	1	0
固定負債合計	402,485	384,161
負債合計	2,237,617	1,651,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	519,220	519,220
資本剰余金	886,445	886,445
利益剰余金	1,695,374	1,662,886
株主資本合計	3,101,039	3,068,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,916	2,669
為替換算調整勘定	△3,400	△4,097
その他の包括利益累計額合計	△483	△1,427
純資産合計	3,100,556	3,067,124
負債純資産合計	5,338,173	4,718,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,528,554
売上原価	1,455,895
売上総利益	1,072,659
販売費及び一般管理費	936,421
営業利益	136,237
営業外収益	
受取利息及び配当金	576
受取手数料	1,802
受取保険料	2,958
為替差益	3,812
その他	2,609
営業外収益合計	11,760
営業外費用	
支払利息	1,135
支払補償費	1,711
その他	449
営業外費用合計	3,296
経常利益	144,701
特別利益	
固定資産売却益	69
特別利益合計	69
税金等調整前四半期純利益	144,771
法人税、住民税及び事業税	25,690
法人税等調整額	26,905
法人税等合計	52,595
四半期純利益	92,175
親会社株主に帰属する四半期純利益	92,175

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	92,175
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△247
為替換算調整勘定	△696
その他の包括利益合計	△943
四半期包括利益	91,231
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	91,231
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはカー&バイク用品関連の買取、販売及びその付随業務からなる単一セグメントであるため、記載を省略しております。